

第Ⅰ期・Ⅱ期一般廃棄物最終処分場維持管理記録票

平成24年11月

設置主体名	美幌町	汚水処理方式	生物処理(回転円板法)	
施設名	美幌町廃棄物処理場	汚水処理能力	25 m ³ /日	
埋立地面積	42,900 m ²	汚水調整池容量	1,200 m ³	
埋立地容量	391,955 m ³	目標	BOD	30 mg/ℓ
技術管理者名	金澤 亮	水質	S S	60 mg/ℓ

埋め立てた廃棄物の種類及び数量			
一般廃棄物(可燃・不燃混合)		814 t	332 m ³
あわせ 産 廃	ばいじん(下水汚泥焼却)	0 t	0 m ³
	汚泥(下水汚泥、無機汚泥)	6 t	2 m ³

堰堤、遮水工、調整池、集水配管等の防凍、侵入防止柵、立札及び浸出液処理設備点検状況															
1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日
○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日		
○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		
点検結果 ○：異常なし ×：異常あり ●：改修済															
◎その他特記及び異常時に措置を講じた年月日及び内容等															

地下水及び放流水の水質測定結果							
(単位/PH：- 大腸菌群数：個/c.f その他の項目：mg/L)							
分析項目	放流水	地下水A	地下水B	分析項目	放流水	地下水A	地下水B
水素指数(PH)	7.7	/	/	シアン化合物			
生物化学的酸素要求量(BOD)	7.3	/	/	PCB			
浮遊物質(SS)	3.0	/	/	有機燐化合物			
大腸菌群数	494	/	/	トリクロロエチレン			
n-ヘキサン抽出物質(鉱油類)		/	/	テトラクロロエチレン			
n-ヘキサン抽出物質(動植物油脂類)		/	/	ジクロロメタン			
フェノール類		/	/	四塩化炭素			
銅		/	/	1,2-ジクロロエタン			
亜鉛		/	/	1,1-ジクロロエチレン			
溶解性鉄		/	/	シス-1,2-ジクロロエチレン			
溶解性マンガン		/	/	1,1,1-トリクロロエタン			
クロム		/	/	1,1,2-ジクロロプロペン			
フッ素		/	/	1,3-ジクロロプロペン			
窒素	57.5	/	/	チウラム			
磷	0.2	/	/	シマジン			
総水銀及びその化合物				チオベンカルブ			
アルキル水銀化合物				ベンゼン			
カドミウム及びその化合物				セレン及びその化合物			
鉛及びその化合物				塩素イオン			
六価クロム及びその化合物				電気伝導率		11.4	142.5
砒素及びその化合物				地下水採水年月日	平成24年11月30日		

備考1) 放流水の水質測定結果において、複数回実施している項目は月間平均値を記載。
 備考2) 地下水Aは第Ⅱ期埋立地Bルート側、地下水Bは第Ⅰ期埋立地側の設置井戸より採水。
 ◎その他特記及び異常時に措置を講じた年月日及び内容等
 11/6~11/28 地下水B(下流側) 井戸ポンプ交換修繕

第三期一般廃棄物最終処分場維持管理記録票

平成24年11月

設置主体名	美幌町	汚水処理方式	生物処理(接触曝気法)
施設名	美幌町廃棄物処理場	汚水処理能力	30 m ³ /日
埋立地面積	16,240 m ²	汚水調整槽容量	2,877.4 m ³
埋立地容量	97,000 m ³	目標	BOD 20 mg/ℓ
技術管理者名	金澤 亮	水質	S S 30 mg/ℓ

埋め立てた廃棄物の種類及び数量			
一般廃棄物(可燃・不燃混合)	0	t	0
あわせ産廃	0	t	0
ばいじん(下水汚泥焼却)	0	t	0
汚泥(下水汚泥、無機汚泥)	0	t	0

堰堤、遮水工、調整池、集水配管等の防凍、侵入防止柵、立札及び浸出液処理設備点検状況															
1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日
○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日		
○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		
点検結果 ○：異常なし ×：異常あり ●：改修済															
◎その他特記及び異常時に措置を講じた年月日及び内容等															

地下水及び放流水の水質測定結果									
(単位/PH: - 大腸菌群数: 個/c.f その他の項目: mg/L)									
分析項目	放流水	地下水A	地下水B	分析項目	放流水	地下水A	地下水B		
水素指数(PH)	7.1	/	/	シアン化合物					
生物化学的酸素要求量(BOD)	10.2	/	/	PCB					
浮遊物質(SS)	1.6	/	/	有機燐化合物					
大腸菌群数	128	/	/	トリクロロエチレン					
n-ヘキサン抽出物質(鉱油類)		/	/	テトラクロロエチレン					
n-ヘキサン抽出物質(動植物油脂類)		/	/	ジクロロメタン					
フェノール類		/	/	四塩化炭素					
銅		/	/	1,2-ジクロロエタン					
亜鉛		/	/	1,1-ジクロロエチレン					
溶解性鉄		/	/	シス-1,2-ジクロロエチレン					
溶解性マンガン		/	/	1,1,1-トリクロロエタン					
クロム		/	/	1,1,2-ジクロロプロペン					
フッ素		/	/	1,3-ジクロロプロペン					
窒素	14.3	/	/	チウラム					
磷	0.1	/	/	シマジン					
総水銀及びその化合物				チオベンカルブ					
アルキル水銀化合物				ベンゼン					
カドミウム及びその化合物				セレン及びその化合物					
鉛及びその化合物				塩素イオン					
六価クロム及びその化合物				電気伝導率		9.4	13.1		
砒素及びその化合物				地下水採水年月日	平成24年11月30日				

備考1) 放流水の水質測定結果において、複数回実施している項目は月間平均値を記載。
 備考2) 地下水Aは第三期埋立地上流側、地下水Bは第三期埋立地下流側の設置井戸より採水。

◎その他特記及び異常時に措置を講じた年月日及び内容等